指定施設ごとに記入し、書ききれない場合は、この様式の例により作成した書類に記入してください。同一の施設を複数有する場合で、全く同じ内容を変更する場合には、まとめて記入してください。

第３号様式（第４条、第20条関係）（付表８）（用紙　日本産業規格Ａ４縦長型）

粉じんの処理方法概要書

粉じんを発生させる作業の概要	粉じんを発生する指定施設の種類	6(2)混合施設 （K－４） 条例施行規則別表第１の指定施設の名称及び事業所内の名称を記入して下さい。
	原材料等の名称	溶剤、樹脂、顔料
	粉じんの種類及び成分	粉末顔料(シアン)
	作業の種類	□　物の破砕、選別その他の機械的処理 □　土石の堆積、運搬又は動力を用いる土石採取 □　土地の形状の変更 ☑　その他（　原材料(粉末)の投入　）
	作業を実施する位置	☑屋内　　□屋外
	作業の内容	原材料(粉末顔料)の投入。 混合時は密閉式のため、粉じんは発生しない。 原材料は、密閉された容器で保管する。
飛散防止対策及び処理方法	☑　粉じんが飛散しにくい構造の建物内で作業を実施 □　集じん設備の設置 設備の種類、名称及び型式（　　） 湿式、乾式の区別（　湿式　・　乾式　） 設備の処理能力（処理ガス量Nm³／h）（　　） 除去率（%）（　　） 排出口の実高さ、頂口径（　　） □　散水設備の設置 設備の種類、型式及び基数（　　） 設備の能力（m³／h）（　　） 散水の方法（　　） □　防じんカバー等設置（　　） □　その他の処理方法（　　）	
添付書類	☑　粉じんを発生させる作業の工程及び位置を明らかにする図面 □　集じん設備及び散水設備の規模、能力及び構造を明らかにする図面及び設計計算書 □　除去率の算出根拠を明らかにする書類及び設計計算書 □　集じん設備の排出口の位置図 □　防じんカバーの設置状況を明らかにする図面	

備考　１　□のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

２　粉じんを発生する指定施設の種類の欄には、別表第１の施設の欄の施設名を記入してください。

３　添付書類の欄には、添付した

飛散防止対策を講じている場合は、対策の内容がわかる図面等の資料を添付してください。